

キャッシュフローの改善方法

Q. キャッシュフローのマイナスをどのように改善するか？

要旨 キャッシュフローの改善には、利益を獲得して収入を増加することが一番です。そのため、利益獲得のために変動損益計算書を活用した改善策を計画していかなければなりません。利益獲得までには時間がかかることが一般的であるため、短期的な資金繰りの改善として、①売上債権の回転期間の見直し、②在庫の削減、③仕入債務の支払期間の見直し、などを積極的に行うべきです。これらは、財務分析における指標を活用すると効果的に行うことができます。さらに、自社による改善に時間がかかる場合には、第三者からの資金調達も考慮する必要があります。

解説

1. 利益改善によるキャッシュフローの改善

キャッシュフローの改善は、利益獲得によるキャッシュの収入増加が最良の改善策になります。利益改善は、変動損益計算書における①売上高の増加、②限界利益率の増加、③固定費の削減の3つの方法しかありません。この3つを会社に合わせて、短期間で効果の出るものから行っていきます。

①及び②の改善には、自社だけでなく得意先や仕入先なども関係してくるため時間がかかりますが、③に関しては社内で行うことができ、経営者が覚悟を持って行えば短期間で行うことができます。

2. 財務分析を活用したキャッシュフローの改善

キャッシュフローの改善の常套手段として、売上債権の減少、棚卸資産の減少、仕入債務の増加がありますが、過度な対策は、反対に企業経営を圧迫する原因になります。そのため、どこまでの規模で削減するのか、どのくらいの期間で回収や支払いを行うのかの目安が必要になります。財務分析にお

ける指標は、金額による分析指標ではなく割合による分析指標のため、企業規模に関係なく使用することができます。売上債権の削減に対しては売上債権回転日数を基準とするなど、同業種のデータや自社の過去のデータを参考にして、実際の目標値を設定することができます。

3. 第三者からの支援によるキャッシュフローの改善

自社においてキャッシュフローを短期的に改善することができない場合には、第三者からの資金援助も考える必要があります。第三者からの資金援助としては、①増資、②借入、③借入金の返済金額の削減、④借入金の元本棚上などがありますが、自社で改善できない場合の最後の手段になります。すべてが一時的な措置であるため、本質的な会社のキャッシュフローを改善しなければ、同じような状況になってしまうため注意しなければなりません。

キャッシュフローの改善に財務分析の指標を活用する

<ご提案のポイント>

- ・キャッシュフローがマイナスの場合には、早急に改善しないと倒産の恐れがあります。
- ・キャッシュフローがマイナスの場合の原因分析は、キャッシュフロー計算書だけでなく、損益計算書や貸借対照表も併せて分析することが必要です。
- ・キャッシュフローの改善は、財務分析の指標を活用すると効果的です。

1. キャッシュフローを検証する

キャッシュフローのマイナスが恒常的になると、最終的には倒産の可能性があるため、早急にキャッシュフローを改善する必要があります。自社のキャッシュフローを検証し、原因が何にあるのかを確認しなければなりません。例えば、売掛金残高が増加してキャッシュフローがマイナスになっている場合には、売上高が増加したことで増加しているのか、回収不能の売掛金が増加しているのか、キャッシュフロー計算書以外の資料を分析しなければなりません。キャッシュフロー計算書だけではなく、損益計算書や貸借対照表も併せて分析することが必要です。

2. キャッシュフロー改善の方法

①利益を出す

キャッシュフロー改善の最良の方法は、利益を獲得し、本業のキャッシュ収入を確保することです。会計上の利益を獲得できても回収できなければキャッシュフローは改善しませんが、損益計算書上の利益が出ていなければ、キャッシュの収入を増加させることはできません。売上高の増加、原価、販売管理費の削減などにより利益改善を行いましょう。

②売上債権の回収期間を見直す

売上債権の減少は、キャッシュフローを改善します。売上高を減少して売掛金を減少しては意味がありません。売上高に応じた売掛金残高の減少が必要になります。つまり、効率性分析における売上債権回転日数を短くすることが必要です。

③在庫を削減する

在庫はキャッシュを既に支出しており、キャッシュフローのマイナス要因になります。無駄な在庫や不良在庫を削減することはキャッシュフローの改善につながりますが、必要以上の在庫削減はキャッシュの獲得機会を失うことにつながります。財務分析における棚卸資産回転日数を基準にして、適正在庫で事業が行えるように管理してください。

④仕入債務の支払期間を見直す

仕入債務の増加はキャッシュの改善につながります。支払期間を延ばすことが可能だとしても経営状況の悪化が疑われ、取引に影響を及ぼす可能性があります。極端に支払サイトを延長することはせず、延長できた場合には遅れずに支払いを行うことが重要です。